令和6年度 学校評価アンケートに対する所見および改善策について(報告)

今年度10月中旬に実施した「学校評価」の集計結果について、各部・各学年において所見・改善策をまとめましたので、以下に報告します。

(1) データ数について

生徒 418 名 (75.0%, 昨年 77.7%), 保護者 377 名 (67.6%, 昨年 68.3%), 職員 39 名

今年度も昨年度と同様に、「Google フォーム」を用いて調査を行ったが、回収率はやや低くなった。次年度は実施時期・方法も含め検討する必要がある。

(2) 評価方法について

今年度は【評価方法】を以下の通りに変更しました。集計結果のポイントはそれぞれの項目の平均点です。

「よく当てはまる」… 10ポイント	「ややあてはまる」…… 5ポイント
「あまり当てはまらない」… -5ポイント	「当てはまらない」… -10ポイント

《教務部》

② 前年度と比較して評価の低くなった項目

職員アンケート

14 伊高では、授業確保のための行事精選や時間割編成がなされている。5.0(-0.1)

【所見・改善策】

今年度は講演会が多く、特に学級独自の LHR の時間が確保できていないという声が届いている。次年度に向けて講演会を準備している各部、係で講演会の精選をお願いし、時間確保に努めていきたい。

《生徒指導部》

① 総合評価の低かった項目

生徒アンケート

7 伊高生は、基本的な生活習慣を身につけ、欠席や遅刻・早退をしないようにしている。3.9(+0.6)

【所見・改善策】

本校の生徒指導は「自覚を促す指導や成長を促す指導」といった主体性や自己管理能力の育成と支援を柱にしています。自分の行動、言動等が周囲に与える影響など、自ら「気づき、考え、行動する」ことを機会と捉えて指導しています。今後も、引き続き教育活動全般を通して指導を継続していきます。

服装容儀や礼儀作法、いじめや、問題行動等についても、自覚のない生徒については、面談等の個別指導を行っています。

《進路指導部》

① 総合評価の低かった項目

職員アンケート

18 伊高は Go For It! を活用し、それに基づく指導・助言が的確になされている。1.5(+0.6)

保護者アンケート

4 伊高は、それぞれの能力に応じて学力を伸ばす適切な学習指導がなされている。4.1(+1.0)

生徒アンケート

6 伊高生は、学習時間の確保に努め、また進路目標の実現にも努めている。4.3(+0.5)

8 伊高生は、各教科の学習内容を把握し、予習や復習をした上で、授業に臨んでいる。2.6(-0.2)

10 伊高生は、進路学習に積極的に取り組み、上級学校や職業について理解を深めている。4.9(+0.4)

② 前年度と比較して評価の低くなった項目

生徒アンケート

8 伊高生は、各教科の学習内容を把握し、予習や復習をした上で、授業に臨んでいる。2.6(-0.2)

【所見・改善策】

Go For It! の活用については、各学級で様々だと認識している。生活習慣が早い段階から確立できるようになると、学習時間の確保にもつながるので活用を継続してもらいたい。

どの学年においても、学力差が激しい。習熟度別授業を実施できない教科・科目があるので個別に対応していただく。

LHR を各学級裁量に充てる時間をもっとほしい。その時間に、進路学習に関する事もできるのではと考えている。

《保健部》

① 総合評価の低かった項目

職員アンケート

22 伊高の職員は、ゴミの減量化・分別等を行い、環境問題に積極的に取り組んでいる。4.9(+1.0)

【所見・改善策】

昨年よりも向上しているものの、5.0 にあと少しであった。生徒へも指導する立場上、今後も職員の意識向上と各職員室等でのゴミの減量化・分別への協力を強く呼びかけていきたい。

《1 学年》

① 総合評価の低かった項目   ② 前年度と比較して評価の低くなった項目

保護者アンケート

2 伊高は、生徒の進路決定に向けて、進路を考えるための情報や資料を提供し、熱心な指導がなされている。4.6(+1.1)

→ 今年度は前期のLHRを学級のために使うことができず、進路を考えさせる機会を持つことが難しかった。ただ、進路適性検査や進路講演会、徳重塾、大学講師による出前授業などの機会を通して徐々に進路を考えさせる機会が増えていると考える。

4 伊高は、それぞれの能力に応じて学力を伸ばす適切な学習指導がなされている。3.6(+1.7)

→ 生徒自身にも日々の授業を受ける姿勢を考えさせることが必要だと考える。また学校側も個々の能力に応じた指導ができるよう、教材選定や指導法を工夫していく必要がある。

6 伊高は、基本的な生活習慣の指導がなされている。4.8(-0.4)

→ 公共の場での立ち居振る舞いや礼儀・社会的習慣がわかっていない生徒が多い。学年としては、今後も生徒が自ら考え律していく指導を根気よく続けたい。

12 考査成績や行事予定などの伊高からの配布物は、速やかに届いている。4.7(+0.9)

→ 基本的には生徒と保護者間の問題だが、学校側からも保護者へ渡したかどうかの確認を行いたい。

生徒アンケート

6 伊高生は、学習時間の確保に努め、また進路目標の実現にも努めている。3.7(+0.8)

→ 学習時間の確保については「Go For It」を活用し、各々振り返らせる。また進路目標については、生徒自身進路目標が定まっていない、または現実味を帯びていない、という現状があるので、LHRなどを活用して考えさせていきたい。

7 伊高生は、基本的な生活習慣を身につけ、欠席や遅刻・早退をしないようにしている。3.5(+0.2)

→ 欠席や遅刻・早退をする生徒は固まってきている。また安易に欠席や遅刻・早退をする生徒も散見され対応に苦慮している。学校からも心身の状態を確認するが、家庭内での声かけや見守りもお願いしたい。

8 伊高生は、各教科の学習内容を把握し、予習や復習をした上で、授業に臨んでいる。2.1(+0.6)

→ 課題の量に追いついていない生徒が多い。ただそれぐらいの量をこなさないと全国の高校生たちと戦っていけない現実もあるので、根気強く予習・復習の大切さを説いていきたい。

③ 前年度と比較して特に評価が上がった項目

生徒アンケート

18 伊高での生活は、充実しており、後輩の中学生にも勧められる学校である。5.5(+2.1)

24 伊高は、証明書申請手続き等に対して丁寧に対応してくれる。5.7(+2.0)

→ 生徒アンケートでは全項目において評価が上がっている。今後も丁寧な指導を心がけたい。

《2 学年》

① 総合評価の低かった項目 ② 前年度と比較して評価の低くなった項目

保護者アンケート

4 伊高は、それぞれの能力に応じて学力を伸ばす適切な学習指導がなされている。3.9(+1.0)

→ 教科によっては学力差が大きいので、生徒個々に応じた指導や取り扱う教材の精選など対策を行っていく必要がある。

生徒アンケート

6 伊高生は、学習時間の確保に努め、また進路目標の実現にも努めている。3.0(-0.8)

→ 学習の必要性を繰り返し、しつこく訴え続ける。中学校までに自宅学習の習慣が身に付いていないと厳しい。中高連絡会などで自宅学習の重要性を強調する。

7 伊高生は、基本的な生活習慣を身につけ、欠席や遅刻・早退をしないようにしている。3.6(-0.7)

→ 「3Kタイム」の在り方についても考えていく必要がある。欠席や遅刻が多い生徒に対して、進路指導とも絡めて粘り強く働きかけていく。

8 伊高生は、各教科の学習内容を把握し、予習や復習をした上で、授業に臨んでいる。1.9(-1.5)

→ 復習を通して定着へ至る、ということを繰り返し、語りこむ。課題を復習中心にするなど、毎日復習させるシステムを作る。

10 伊高生は、進路学習に積極的に取り組み、上級学校や職業について理解を深めている。4.3(-0.7)

→ 鹿児島大学の難易度を早い段階で体験、実感させる。

13 伊高生は、交通ルールを守り、交通安全には十分注意して、登下校をしている。6.7(-0.6)

→ 歩きスマホの危険性を理解させる。

16 伊高の先生は、生徒の実態を踏まえ、わかりやすい授業の実践に努めている。4.7(-0.1)

→ 「わかりやすさ優先＝そこにいるだけで、わかる」では、生徒の「考える力」は、身につかないのではないか。したがって、「考える力」が身につくような「わかりやすさ」を意識して、授業を進める。指示を簡潔にする。

17 伊高の先生は、学校生活や進路に関する悩みや不安を受けとめてくれている。5.6(-0.1)

→ 教員の業務を精選し、生徒と向き合うための時間的・精神的な余裕を持たせる。

18 伊高での生活は、充実しており、後輩の中学生にも勧められる学校である。4.8(-0.1)

→ 百周年記念講演会の講師の言葉にあったとおり、「充実」は与えられるものではなく、自らの力で手に入れるものではないだろうか。そんな「攻め」の姿勢を持つように促し続ける。学習が充実すれば高校生活は充実する。

21 伊高は、妙円寺クリーン作戦の実施やボランティア活動の案内等を通して、ボランティア精神を育てている。5.7(-0.8)

→ 「案内」は、係から各学級に届いているので、掲示物等の案内（自体）をきちんと見るように促し続ける。「妙円寺クリーン作戦」は、例年2月の実施。時期的に合わないので、質問文から妙円寺クリーン作戦の文言を外してはどうか。

《3 学年》

① 総合評価の低かった項目   ② 前年度と比較して評価の低くなった項目

保護者アンケート

4 伊高は、それぞれの能力に応じて学力を伸ばす適切な学習指導がなされている。4.8(+0.3)

→ 個々の進路実現に向けて必要とされる学力を伸ばすよう、授業を通じた指導を徹底し継続していく。生徒用アンケートでの学習指導等に対する評価は高く、好結果となる指導を心掛けたい。

12 考查成績や行事予定などの伊高からの配布物は、速やかに届いている。4.1(-0.4)

→ 特に考查成績等については見届けを徹底していく。配布物は生徒・保護者のコミュニケーションの一助となるものであり、このやりとりを大切にしていきたい。

生徒アンケート

7 伊高生は、基本的な生活習慣を身につけ、欠席や遅刻・早退をしないようにしている。 4.5(+2.0)

→ 一部生徒の状況についての評価と考えられ、全体的には良好である。

8 伊高生は、各教科の学習内容を把握し、予習や復習をした上で、授業に臨んでいる。 3.8(+0.6)

→ 予習・復習とも疎かで、学習内容の理解不足の生徒が少なからずいる。これは、志望する進路によるところも大きいと考えられ、個々の進路志望に応じた取組としては上向いていると感じる。

11 伊高生は、各部屋の消灯・節水等を実施し、光熱水費の削減に努めている。 4.7(+1.2)

→ たまに空き教室の電灯が点いていたりすることがある。大切な資源であるという認識のもと、十分な指導を徹底していきたい。

③ 前年度と比較して特に評価が上がった項目

生徒アンケート

2 伊高生は、良識を持ち、自主的に行動しようとする姿勢がある。「自律」 6.3(+2.2)

5 伊高生は、マナーを大切にすることが強い。「公德」 5.9(+2.1)

6 伊高生は、学習時間の確保に努め、また進路目標の実現にも努めている。 6.6(+2.2)

14 伊高生は、地震や火事など災害発生時の行動の仕方を理解している。 7.4(+2.1)

18 伊高での生活は、充実しており、後輩の中学生にも勧められる学校である。 5.9(+3.0)

21 伊高は、妙円寺クリーン作戦の実施やボランティア活動の案内等を通して、ボランティア精神を育てている。 7.0(+2.7)

23 伊高は、安全な学校実現のために危険箇所等の補修に迅速に対応している。 6.4(+2.6)

→ 生徒アンケートの全項目において評価が上がっており、特に上記項目で顕著である。学校の指導等に対して肯定的に捉えている生徒が多いと考えられ、学校生活全般においてその姿勢が見受けられる。